

山仕事 コラム

林業の七つ道具

いろいろな道具を使って仕事を行う林業。ここでは、主な道具や装備について説明します。さまざまな道具を使いこなして、林業のプロフェッショナルを目指そう！

●呼子笛よびごぶえ

現場は、重機の音やチェーンソー、刈払機の音が響いているため、大声で呼んでもわかりません。伐採の際の合図にも使います。写真はヘルメットに付けるタイプ。

●手袋(防寒・防振など)

林業は、刃物を扱う仕事です。不意に刃に触れても怪我をしないよう手袋は必須です。皮製や合皮、繊維強化タイプも使われます。

●チェーンソー

言わずと知れた、林業の代表的な道具。上手に目立てが出来るようになれば、仕事のスピードもアップ。振動が少なくなり、燃料の消費も抑えられます。

●長靴じかたび・地下足袋

山の中では、短靴は禁物。脱げたり、ゴミが入ったり、笹などが刺さったりして危険です。木の上や粘土質の所を歩いても滑らないようスパイク付きのものを愛用している人も多いです。また、地下足袋も根強い人気があります。

●刈払機

主に下刈や除伐作業で活躍します。安全対策のため、肩掛けバンド等を着用し、刈払機と身体を固定して使います。

●ヘルメット

大切な頭を守るため、必ずかぶります。切り粉の飛散防止、耳の保護のため、フェイスガードやイヤーマフが付いているタイプもあります。

●ナタなた・手鋸てのこ

山仕事では、ナタや手鋸が必需品。必ず腰に装備しています。フジのつる切り、簡単な測量杭作り、細い木の伐採などにも重宝します。

●腰袋

伐採の時に使う小道具を入れます。チェーンソーの工具・ヤスリ、クサビ、クサビを打つハンマー、木材チョーク、砥石などが入っています。



model: ぬなかわ森林組合 恩田正宏さん

